

令和6年5月1日

令和6年度 八峰白神ジオパーク推進協議会総会
議事録

- 1 開催場所 八峰町役場 大会議室
- 2 期日 令和6年5月1日(水) 14:00~15:30
- 3 出席者
会長 堀内 満也
副会長 西出 静 (八峰白神ジオパークガイドの会 会長)
副会長 山内 章 (八峰町観光協会 ※太田治彦の代理)
監事 斉藤 誠悦 (八峰町白神ガイドの会)
団体会員 鈴木 洋一 (八峰町教育委員会 教育長)
大和 和也 (秋田やまもと農業協同組合八峰支店 支店長)
門脇 哲也 (秋田県漁業協同組合北部支所 支所長)
高辻 洋暁 (秋田銀行八森支店 支店長)
佐々木正憲 (八峰町文化財保護協会 会長)
小沢 悟 (八峰町芸術文化協会 会長)
須藤 徳雄 (岩館第2自治会 会長)
個人会員 奈良 聡子、鈴木 悟
事務局 石上 義久、木藤 誠
- 4 案件
 - 1) 報告第1号 専決処分 of 報告について
 - 2) 議案第1号 令和5年度事業報告
 - 3) 議案第2号 令和5年度収支決算報告
会計監査報告
 - 4) 議案第3号 令和6年度事業計画(案)
 - 5) 議案第4号 令和6年度収支予算(案)
 - 6) 議案第5号 役員の選任について(案)

【堀内会長あいさつ】

皆さん、お疲れ様でございます。まずは、本日、大変お忙しい中、この八峰白神ジオパーク推進協議会にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

先ほどですね、事務局の方からもありました通り、今年度から、これまで産業振興課にあったジオパークの事務をですね、生涯学習課の方に移して取り組むといったことにしたところでございます。この理由としましては、このジオパークをこれまで観光に結びつけよ

うということで、おそらく、観光部門に置いていたところでございますけれども、私、1年やってきてですね、なかなかこれを観光に結びつけるっていうのは相当ハードルが高いなと、そういう風を感じたところでございます。そしてまた、昨年、ジオパークの全国大会に行って色々な首町さんたちと話をしてきましたけれども、やはりどこもですね、観光に結びつけるのは非常に難しいねと、そんな話をしておりました。ただ一方で、やはりこの教育面においては、私、これ大事な事業だという風に捉えているところでございます、そういった観点から、今回、生涯学習課に事務局を置いたところでございます。皆様におかれましても、ぜひそうしたところをご理解いただければという風に思っております。さて、本日はですね、昨年度の事業報告、そしてまた令和6年度の事業計画等、説明することとしております。委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。私からの挨拶と代えさせてさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【1）報告第1号 専決処分の報告について】

【2）議案第1号 令和5年度事業報告】

【3）議案第2号 令和5年度収支決算報告】

1) 1. 運営

2. 保全・研究

3. 教育・防災

4. ツーリズム

5. ネットワーク活動

2) 1. 令和5年度収支決算

会計監査報告 監事より報告

(齊藤誠悦監事から監査報告書読み上げ)

令和5年度八峰白神ジオパーク推進協議会会計収支決算書に関する一切について、令和6年4月19日に監査し、適正と認める。

《質疑応答》

会 員～5ページの収支決算についてですが、支出の事業費、⑤ですね。白神の恵み認証制度、これ、予算50万に対して支出が4万円。その内容は藤里町のデザイナーさんへデザイン料ということですね。

事務局～50万円は最初、印刷まで全部終わらせる予定で。50万という予算組みをしたっていうのは、令和5年度の予算の段階ではその予定だったんですが、印刷まで結果的に行けませんでしたので、4万円は先ほど説明した藤里町の初恋デザインという会社の方に支出をしております。

会 員～デザイン料。他は全部印刷費？

事務局～そうですね。

会 員～わかりました。ありがとうございます。

会 長～他にございますでしょうか。(質問等無し) よろしいですかね。それではないようですので、議案第1号、議案第2号は提案の通りご承認いただいてよろしいでしょうか。(「異議なし」の声) ありがとうございます。それでは、議案第1号、第2号は原案通り承認されました。続きまして、議案第3号、令和6年度事業計画案、議案第4号、令和6年度収支予算案について、事務局より説明をお願いいたします。

【4）議案第4号 令和5年度事業計画（案）】

【5）議案第5号 令和5年度収支予算（案）】

事務局より総会資料を基に説明を行う。

≪質疑応答≫

会 員～今おっしゃった活性化業務、これどういう内容になりますか。

事務局～活性化業務につきましては、今年は第2、第4土曜日に森林科学館を活用する形で来館者の方にガイドをするというのを予定されているそうでして、そういった活動に出ていただいた方の費用を見込んであるということになっています。

会 長～他にございますでしょうか。どうぞ。

会 員～研修の費用にかかわることで71万円。下北の全国大会にかかるということですが、概ね何人くらい見込んでいますか。

事務局～町のバス1台分は予定したいなと思ってます。20～25人くらいは予定をしたいなと思ってます。今日お集まりのジオパーク推進協議会の会員の方もそうですし、ジオガイドの方、それから、物販を設けるってことでしたので、物販の販売に協力していただく方の旅費であるとか、そういったものも一応見込んでの71万ということで考えています。25名プラス物販関係と、ポスター発表等で約35人くらいになるのではないかなと思ってます。

会 員～どういう方法でまとめをやりますか。

事務局～連休明けに下北の実行委員会の方から大会の参加申し込み案内が来ますので、それが届いた段階で、協議会の会員の方、ジオガイドの会、そういったところにはあらためてお知らせを送らせていただいて、いつまでに参加申し込みしてくださいという形で募集をしたいと思っています。

会 員～人数が多ければどうなりますか。

事務局～71万円の予算の範囲内で調整になるかと思います。極力希望する方はなんとか行っていたきたいなと思ってますので、どういう形で工夫をできるかってのは追々考えたいなと思ってます。

会 長～町のバスだから移動分はタダで、宿泊1泊分を見る。そんなイメージ。

事務局～そうですね。あと、今回3日間開催なので2泊分の負担が出てくるんですね。あと大会参加料。こちらも負担を考えています。

会 員～参加者の負担もあるんですね。

事務局～今のところ、大会参加、宿泊に関する部分は求める予定はしてないです。現地で、例えば集まった人同士で交流会をやりたいとか、そういった場合は、1人4000円とかっていう負担はお願いするかもしれませんが、まず今の段階では、こちらで想定してるのは、先ほど言った大会参加費、宿泊費はこちらで出したいと思ってます。今回、下北でやるのでこの扱いとさせてもらっていて、例年、東北じゃないところであれば一律5万円で補助させてもらっていて、5万円を超える分は自己負担をお願いします、という形でやらせてもらっています。

会 員～ファムツアーなんですけども、これどういうところに呼びかけていますか。

事務局～先ほど事業報告でもお話しましたが、対象は旅行会社の営業担当の方です。八峰白神ジオパークのフィールドをガイドさんの案内で体験していただいて、それを元にして一般の方に対する旅行商品を作ってもらおうというものを想定しています。

会 員～何社くらいですか。

事務局～前回やった時は大体25社くらいに呼びかけていただきました。秋田県内です。

会 員～県内だけ。

事務局～県外となると、例えば、JTBや近畿日本ツーリストだとか大手のところになる扱いが別になるので、まずは県内の旅行会社の方から実績を作っていただきたいということで、今年もとりあえずその形態は続けたいと思います。

会 員～関連で、今の話でいくと、また昨年と同じような投げ込み式というか、旅行業協会の方をお願いしてると。で、実績がゼロだったんですね。実は秋田県庁が主催したり県庁の名古屋事務所の方が主催する商談会とかってやってるんですよ。男鹿のホテルでやるんですけども、そこにはいろんな旅行会社、例えば中部関係の旅行会社が集まって、それで県内のどういうところをツアーで組んでいたらいいかというのをやるんですね。で、去年、私も行ったんですよ。私が行ったのは、男鹿で一泊してから青森の方に抜ける時、ちょうどうちのところが昼食会場になるよということで、40人ぐらいのお客さんだからそれ対応できますよということで言ってるんですけども、そうすると、あちらの方でファムツアーみたいな形でその6人、7人を連れてきて、男鹿のなんかにおいて、それから能代の金勇を見て、で、うちの方でもご飯食べて、で、十二湖の方に回っていくというのをやってくれたんですね。投げ込みもいいけども、そういう商談会、秋田県庁主催のものがあるので、そういう時に、うちにこういうのがあるんだよという情報提供しても、何年か後にもしかしたらそのツアーの中に組み込まれる可能性もあるのでちょっと検討してみたいなと。もう1ついいですか。ランチョンマット、これは飲食店にまず配布という形ですよ。で、こう見ていくと、例えば柱状節理おもしろい形してるな、行きたいなって言った時に、ハタハタ館であれば（案内できる）人がいるので答えることができるんですよ。他の飲食店に、そのぐらい何か知識がなければですよ、無ければこれを見て、ここ行きたいなって言ったのに、いや、私何も知らないですよって言われればそれまでなもんだから、渡すんであれば飲食店の方々

にも、ジオパークの基本的な部分だけでも、講座でもあった方が次に繋がっていくんじゃないかなというのと、先日、うちの方のお客さんが来て、柱状節理見たいという話で、これから十二湖行くんだけど、柱状節理はどこにあるんだ、という話になったんですよ。それで、「(場所を) もう過ぎてきてますね。十二湖見てから、秋田に帰ってくる時に、ここあたりですから見てください」って言って、地図を見せてもやっぱり行けない。看板見ても小さい。自分たちが行ってもやっと分かるくらい。初めて来てここにたどり着く人ってなかなかいない。という中で、グーグルマップにはちゃんとある。柱状節理出てるんですよ。だから、グーグルマップでこうしてやればここですねって いうことで話しは通じたんだけど、グーグルマップが入ってない人もいるもんだからこの後の展開っていうのを少し考えてみてもらいたいな、と。お願いいたします。

会 員～先ほどのツアーの件に関連してですけども、提案です。先ほどこちらのガイドが現場を案内して旅行企画を考えてもらうっていう話でしたけども、逆にこちらでもタイムスケジュールまで旅行プランを作って、それを元に旅行会社さんに提案していくっていう方が 向こうもイメージ作りやすいんじゃないかなっていうような感じがします。以上です。

会 員～去年も会議に参加させていただいて、この会っていうのが年に1回だけなのかなと思って、 やっぱり勉強する機会がないと、と思って、去年2回ほどツアーと個人的な別の会でガイドをお願いして、中身をちょっと自分なりに勉強したつもりです。で、すごく内容的にも楽しくてツアー行ってきたんですけども、冒頭、会長さんの方から、今年度ちょっと変わったような、教育の方に生きておくのかなというイメージを持ったわけですけども、今までもその観光面、どこまで、何割踏み込んだのかもわからないですけど、今年は多分ゼロではないと思うんですけど、その観光面のアプローチっていうのがどの程度なのか。これを見ると、ツーリズム部会っていうのもありまして、ゼロではないなどは感じているんですが、 今こう色々そういう話も出たので、もう少しですね、その辺の比重と言いますか、アプローチの仕方、今後進むべきあれをもうちょっと詳しく教えていただければありがたいです。

会 長～事務局より、私が喋りますけど、いずれ今年はソフトランディングの年かなと思ってます。機構改革したんで、ある程度これまでやってきた事も進めつつ、来年、再来年ぐらいにはもっと教育面に力点を置いた取り組みにしたいなという風に思っています。予算を見てわかる通り、もう町の補助金がなければこの事業はできないような、そんな状況では私ダメだと思う。もっともってですね。負担金は予算では仕方ないかもしれないですけど、やっぱり事業については、やはり国のデジ田交付金、こういったものを使っていろんな取り組みをやってる自治体ありますんで、そういったところも研究しながらそちらの方にもシフトしていきたい。そんなご理解いただければなと思ってます。

会 員～私の意見ですけども、冒頭、会長の方から、ジオパークっていうのはなかなか観光に結びつきにくいということで、機構改革して事務局の生涯学習課が主管することになったわけですけど、私はジオパークは教育と観光は密接に結びついていると思うんですよ。これからおそらくその教育旅行っていう事業がシェアが広がってくると思うんです。ですから、今も会長はもっと事務局、教育の方に力を、力点を置いてという話ありましたが、私は逆にもっと 旅行、教育旅行の方をちょっと視野に置いて、で、ジオパーク協議会としても利益を上げるということにしていった方が、今のお話にもあったように、その町だけのお金に頼るのではなく、自主財源にもなっていくだろうし、もう少し教育旅行をアピールしたらどうかかなと思うんですね。で、ファミツアーは県内の旅行代理店の営業担当の方に アピールしていくということでしたけども、もっと積極的に県外の旅行代理店にもアピールして、で、県外からその子どもたちを教育旅行に呼ぶ、そういうこともこれから必要になってくると私は思います。

会 長～いずれ、教育旅行であっても、やはりどうしても教育っていうようなところが出てくるでしょうから、そういったところでもやはりもうちょっと教育委員会の方でやっていただきたいなという風に思っています。

事務局～今回、教育委員会に移りました。今日は教育長からも（会議に）出てもらっていますが、今話をしているのは、例えば町の婦人会とか、そういった団体でもジオパークのフィールドを知っていただくような取り組みを、もっと、機会を増やしていくべきではないかという話を言われていますので、今後、事務局と部会、運営委員会等で引き続き話をしていきたいと思っています。それから今回は、昨年度の事業報告でもしましたが、学校の学習指導要領に基づいたものを作成しましたので、ようやく形としてできましたので、で、そちらの方を授業で使っていただきながら、子どもたちにまず引き続きより詳しく知っていただく。授業に使えるような素材としてもっと使っていただく。また、教員の方に八峰白神のフィールドをもっと知っていただかないと授業で使う側も大変なので、そういった取り組みを教育委員会内部の方でも考えていきたいと思っています。伊豆半島のジオパークでは教育旅行の取り組みもしていますので、今後研究してみたいなと思います。

会 長～他にはありませんか。

会 員～まずひとつですけども、運営委員会の時に、今年の部会活動に関して、部会に出席した人に1日いくらかかっていうことでお金をだした方がいいんじゃないかって言って、2,000円だとか2,500円だとかってことでこの前話し合いをしたんですが、その説明は全くなかったんで、その説明をまずお願いします。

事務局～3月28日の運営委員会でそういったご意見が出されたということで、一応、部会活動費の15万の中からはとりあえずは支出をしていきたいと思っています。で、金額については、運営委員会でお話をしましたが、1回あたり1,500円ということでお話をしていたはずですので、1回1,500円ということやっていきます。あとはも

う部会をどれだけやるかにもよりますので、まず、とりあえず今年度の予算の段階では、とりあえず15万の中でやっていくと考えていきます。

会 員～それは費用弁償的なものですか。

事務局～費用弁償的なものになります。町の行政委員ではないので、こちらで独自で決めることではありますけども、意味合いとすればそういう意味合いと考えていただいていいかなと思ってます。

会 長～（質問者に）よろしいですか。

会 員～もう1つ、もう2つか3つなんですけど、1つずつ行きます。ジオパークガイドの会の方に60万円の活性化事業が委託で出てまして、で、それを、そういう（委託）形じゃなくて、補助金という形で、予算は減額になったけど、50万にしますと説明がありました。それともう1つ、運営費は年度で10万円ですってということで、結局60万円ついてるってことで説明あったんですけども、その時に気になった説明が、活性化の50万円に関しては、使わない時は減額もあります。とありました。私、ガイドの会の時に聞きそびれたんですけど、運営費10万円だと、われわれ、またまその繰越金があったので今年は予算を組めましたけども、繰越金がない状態でこの状態でやると、運営費だけで17～8万円かかるんですよね。だから、運営費の方を少し増額していただいて、活性化の方を50万円ではなくて40万円とかいう風にやり取りしてもらうことはできないか、ということです。

会 長～どうですか。

事務局～ガイド会の総会でも話しましたが、今日は推進協議会なので、ガイド会と別話になるということを前置きしますが、ガイドの会の総会の時にお話させていただいたのは、自分たちの活動として自由に使えるお金はいかにして生み出すかっていうことをまず考えてもらいたい、という話を説明させていただいたはずですが、それは、有料ガイドは自分たちで、自分たちもPR活動等を通じて有料ガイドを確保していく、いただければ、というお話をして、有料ガイドが増えれば増えるほど実入りが入ってくるので、その分活動に使える。あとそれから、補助金を増額するっていうのは、計画があって成り立っていくはずなので、まず、この補助金を増額ありきで考えるのではなくて、ガイドの会として自分たちの活動を見た時に、活動とそれから運営を考えた時に、会費の値上げも1つは考えられるんじゃないか。この間事務局として話をさせていただいていきましたので、その辺はやはりもうちょっとガイドの会としても考えていただきたいところがあるってことは、この間お話しさせていただきましたので、今の段階ではその考えは変わらないと思ってます。たまたまですけども、令和5年度のガイド会の決算は補助金の額より上回ってましたので、普通であれば、補助金はそれで減額に普通はされるっていうことになりましたが、まず減額をしないで、とりあえずそれで、10万円はまず運営費の補助として出させていただきますので、もう1度、その自分たちの活動の議論も含めて考えていただきたいというのが当局サイドの考え方です。

会 長～（ガイドの会）会長としてそのコメントありますか。

会 員～私もガイドの会で補助金云々は話をしてきたんですけども、なんていうのかな、補助金目当てで活動するのか、それともガイドの会が町の活性化につなげるようにして活動していくのか考えた時に、私は補助金だけに頼ってはダメなんじゃないかなっていう考えはあります。あと、事務局の方から、今、推進協議会の事務局がガイドの会の事務局も兼ねてやってもらってるんですけども、これは、ガイドの会ができた段階で、3年後には独立してほしいっていう風な話をされたんですけど、今まで全然そういう方向に向かって行ってなくて、今ここに来て、独立に向けて、自分たちのまずガイドの会が1つになって頑張っていくしかないんじゃないかなっていう考えで私はいます。ただ、それにガイドの人たちがついてきてくれるかって協議中です。

会 長～ありがとうございます。そういった事務局意見あるいはガイドの会会長意見等ありますけど、（発言者の方）よろしいですか。

会 員～まだちゃんと話し合えてきてない。ただ、この前総会やった段階で、他のメンバーからの色々なその感想が、教育委員会に行ったこともあるけども、事務員が1人になった。一気にガイドの会独立しなさいみたいな形で、もう手離れたよ、みたいな形で言われたので非常にショックが大きくて。で、なんか俺たちを応援してくれてないんじゃないのかな、非常にこの後の活動に不安を感じてるというメンバーが非常に多かったことは確かなんで、そういう意味ではこれからガイドの会の中身を整えていくのは大変だな、という感じはしています。さっき言ったように、もっとぶつかんなきゃいけないことだと。ランチョンマットの話もあったし、さっきツアーの話がありました。非常にやっぱりその事務局が役場の人間だっていうこともあるので、個人ではないと思いますけども、非常にやっぱりこう固苦しく役場的なやり方でやってくるので、なかなかこう自由度がきかないんですけど、ランチョンマットのデザインは、自分でそれこそかなり、100パーセントじゃないけども作ったんですよね。で、ランチョンマットだけに使おうと思って作ったわけじゃなくて、あくまでもやっぱりさっき言ったように、これからこの町にいっぱい人が来てもらうために、そのアピールの材料として仕組みを作ったわけですよ。なのに、これをいっぱい活用してほしいっていう要望したら、ランチョンマットに限った予算しかない、それしか使えないという風に言われちゃう。例えばこのくらいできるとすれば、地質図もそうなんですけども、林先生（アドバイザー）のチェックは終わってないんですけど、それも新しいの作ってある。で、そういう風なものを作った以上は、それを十分活用して外にアピールしていくのはやっぱり大事なことだと思うんですよ。これは。例えば盛岡にこれから連休に行かれるっていう話聞いてますけども、それも結局いつもガイドの会には声かからずに事務局だけでいくわけですよ。仙台だとか盛岡だとか。ものすごくチャンスがあるんですよ。で、そこで我々のアイデアとか、こういうの配ったらどうかとか、色々出せるのに、事

務局で決めて、その事後報告もない状態なんですよね。そういう意味で、非常に我々も一生懸命、ジオパークはもう救世主じゃないかと思うくらい頑張ってるのに、役場の人間は、ジオパークはちょっとめんどくさくて金もかかるしみたいな雰囲気、その差がすごく大きいんですね。やっぱりもうちょっと積極的に、せっかく作ったのであったらもっと活用するように、もっと柔軟な姿勢でいろんなことを考えてやってほしいなど。ファミツアーにしてもそうなんですよ。全くその反応もない。要するに、釣りしてて全く1匹も引かからないのに、まだそのやり方を続けていこうとするわけですよ。もっとJRがどうか色んなアイデア出してるのに、まずそれはそれはみたいな感じなっちゃうので、やっぱりその辺のところを、やっぱりもうちょっとこう頑張ってこう推進していくためにも、部会っていうものをこれからもっとこう活発にしてやっていきたいなっていう風に思ってますので、よろしくどうか。

会 長～それに関して、先ほど私も言いましたけども、補助金ありきで、前例踏襲でやるのではなくて、もっともっと、国の補助制度を活用した様々な取り組み、支援っていうのがあるんで、そういったところをこう、事務局としてもこう探しながら展開するといいかもしれないですね。(発言者の方) いいですか。

会 員～青森のね、その下北の全国大会なんですか。で、ぜひ皆さんに参加してほしいんですけども、やっぱり全国大会に行くと、本当に自分たちの町でやってることが見えてくるんですよ。で、これぐらいどうやればいいかっていうのが見えてきます。そういう意味で、ぜひ協議会の皆さんも行ってほしいし、ガイドの会のメンバーもみんな行きたいんですよ。そういう意味で、これに金かけるはすごくいいことだと思うんですけども。僕は全国大会、5回出てるんですけど、プレツアーってあるんですよ。で、プレツアーってというのは、そのみんなと一緒にバスに乗っていくじゃなくて、前もって前乗りして、1泊とかに外して勉強して来るわけです。もし今回それに出るとすれば、これはその人には補助金は出ない？

事務局～すいません、プレツアーまでは(費用を)見れないです。かなりギリギリで組んでいるので。

会 員～それと、終わってからポストツアーもやりますよね。そういう風なものにやってくためにも、そのプレツアーに参加して、ポストツアーとか参加して勉強しなきゃいけないんですよ。だけど、そういうのにやっぱり(予算を)見れないですじゃなくて、見れるようになんかフォローしなきゃいけないんじゃないか。さっき言ったように、例えばバスに満杯になって行けなくなるくらい集まればね、それは最高です。だけど、今までも全国大会みて、いつも1人か2人。推進協議会から郵便局長が時々参加しましたけども、その程度しか参加しない。ガイドの会、地元だからといって、17人がね、みんな参加できるわけじゃないじゃないですか、休み、平日とか休めない人もいるわけだし。で、そういう意味で、やっぱり実行するためにはできるだけ多くの人間を参加させるためのいろんな工夫が必要なので、そういうバ

スで行ってきましようぐらいな感じのやり方では、僕は、人はなかなか集まりづらいんで、そういうところはやっぱりもう少し本当に皆に参加してもらいたいという考え、いいんじゃないかなと思うんですけど。

事務局～こちらで今考えてることをまずお話しさせていただくと、特に今回ポストツアーに関しては、下北ジオパークで全国大会ということで、ポストツアーは1本こちらで受け入れることも考えてます。昨年度からガイドの会の役員会等でお話をさせていただいておりますので、そちらについて有料ガイドの実現に繋がりますので、そちらの方は計画を引き続きガイドの会の方と相談をさせていただくということですが、プレツアーの参加となると、これからの下北の方でどういうプレツアーを準備をしてくるか、まだ正直わかりません。1泊2日のものなのか、日帰りのものなのかっていうのは出てみないとわからないんで、そこに関してはちょっと今の段階でどうしますっていうのを明言できないのがちょっと心苦しいわけですけども、検討させていただきたいと思いたすのですが、こちらとしては、大会に1人でも多く参加していただいて、そのための費用をなるべく個人負担をいたさないでやる方法を考えたいと思いたすので、先ほどご説明したような内容で一旦考えさせていただければと思いたす。

会 長～一部補助はするけど、多い場合は自己負担ありですっていうような形で、こう柔軟にやればいいのか。

事務局～なので、そのプレツアーがどのくらいの費用でくるとかはまだ全然わかってないので、それも見ながら考えさせていただきたいなと。去年の銚子の全国大会はプレツアーだけで3万いくらか、そういう値段だったので、全国の参加者向けに出す値段なので、下北もそのくらいで考えてるんではと思いたす。会長から話があったことも含めてちょっと考えさせてください。

会 長～他にございますでしょうか。

会 員～去年もなんか言ったような、ちょっとあれなんですけども。この運営委員っていうのが、まず、実行部隊でこう活躍してるなっていうのはわかるんですけど。で、この会はどっちかというご意見番のイメージを持っています。実際そうなのかもしれないんですけども、内容がわからなければご意見番にもなかなか得ないところもあるので、運営委員会なりガイドの会なり、活動に参画できる、オブザーバー的でもいいんです。そういうのをこの回で開いて、年に1回でもいいから何かで参加できるような体制にしないと、ご意見も言えないような感じがするので。しからばいけるか、というとそんなにいけないわけで、本当に自由参加みたいな感じで、選んでいただいて、参加を促していただくとありがたいなと思いたすんですけど、いかがでしょう。

事務局～今の動きを踏まえて、ちょっとこちらで模索をさせてください。

会 長～他にございますでしょうか。どうぞ。

会 員～すいません、何回も。今の議論を聞いてやっぱり気になったのは、その情報共有が

全体でできてないなということがすごく気になりました。〇〇さんの提案を良いことだと思えますし、〇〇さんがさっき仙台に行くにしても、事務局が行っても報告もない。その辺やっぱもうちょっとこう情報共有しないと、その会全体の意識も同じようにこう上がっていかないと思います。それとあと sns の活用ですけども、現状では Facebook で推進協議会として発信してますよね。

会 長～どうですか。

事務局～今、Facebook のページがあるのと Instagram のページもあるんですけども、SNS に関しては、たまたまその担当した職員が SNS をやれば、その管理人っていう形になったりすることになるんですけども、今、推進協議会の Facebook を当時担当してた職員の管理者が切れている状態で、更新が全くできない状況になってまして、そこを解消するためにどうすればいいかというのをあの手この手で今やってます。Instagram は、私もやってないんで、結局やれる職員が誰もいないと更新がままならないっていう形なんです。

会 員～Instagram を担当してた職員は。(〇〇課にいます、と回答) そういうこともあるんですよ。異動とかなるとね。

会 長～引き継ぎ、異動は当然あるんですけど。そこをやっぱり引き継いでほしいんですけどね。

事務局～すいません。これは言葉を返すことかもしれませんが、Instagram とか SNS をやるやらないは個人の判断なのでやるようになっていうのはちょっと・・・。

会 長～個人じゃないでしょ。協議会でやってるんじゃないですか。

事務局～誰か個人が開設して協議会のアカウント、協議会のページを作ってそれをやっているっていうのが Facebook なんです。あくまで個人優先なんです。Twitter (現: X) とはちょっと違うのが、Facebook でとか Instagram なんです。誰かその担当者がやってる前提でページを作るっていうのが Facebook とか Instagram なので、その方にもほぼほぼ。ついてまわるといことなんです。協議会公式でやってますが、結局それを解説する、作る段階では、個人のアカウントが先にあって、それで、その人が作るという流れです。

会 長～そのアカウント引き継げばいいんじゃないですか。

事務局～私も詳しい、確信までちょっとよくわからないところもあるんですが、自分が作ってるもので言うと、誰か、例えば A さんが当時ページを作りました。で、B さんっていう新しい担当の人が来た時に、管理者権限をちゃんと共有して戻せばいいんですけども、その人が Facebook やればいいんですけど、やってないとそこはできないみたいな感じになってしまう。で、A さんという人も異動していなくなってしまうと。じゃ、この協議会のページを誰がやるんですかっていうことが今度宙ぶらりんになるなわけです。

会 員～町として、はい、Facebook ページを作るっていうことはできないんですか。

会 長～ありますよね。

事務局～法人としてですか。

会 長～町として（ページが）あるところありますよ。

会 員～Line でできても、Facebook でできないってことはない。

会 長～思います。

事務局～当時の担当（今は他課）が開設した話は聞いてました。で、その人の管理者権限が、異動の段階で管理者権限から抜けてるんで、結局今は管理者権限がない状態になっちゃってる。そこに自分は後から管理者兼用に入り込めないんです。

会 員～システムとして、Facebook と Instagram が個人アカウントでしか開設できないっていうのであれば、その、Twitter（現：X）とか、Line より Twitter の方は安全なのかちょっとよくわかんないけども、別でその公式のアカウントを開設するっていうことを考えたらどうですか。職員が異動なってからも、その個人が発信しないと、それで発信が止まるっていう状況はうまくないと思うんですよ。

事務局～そこは、今、あの手この手でなんとか復活させられるようにやってる最中でありますので。

会 長～やってるんですか。

事務局～こちらであちこち詳しい方にも問い合わせとかしてまして、なんとかなる方法ないですかっていうことで。で、最悪どうにもならなければ、もう 1 回、イチから作る、作り直すしかないだろうと思ってますけども。で、協議会のホームページから、そちらにリンクで飛べるように、作り替えをするとか、何かしら対応しなきゃいけないなと思ってますけども。従来のをもう 1 回復活させれないかっていうのを模索してますので、お時間いただきたい。

会 員～Instagram あるわけだ。

事務局～Instagram もあるはずですよ。すいません、私は Instagram をやってないので見ることができないんですが。

会 員～Instagram のアカウントは誰でも何人でもできますよね。自分でもハタハタ館のを作って、〇〇の方にもこれですよって 2 人でどんどんどんどんこうやっていけるし、3 人でも何人でも。

会 長～引き続き事務局で。他にありますでしょうか。【特段発言無し】よろしいですかね。質問がございませんので。議案第 3 号、議案第 4 号につきましては、原案通りご承認いただくことでよろしいでしょうか。（異議なし）ありがとうございます。議案第 3 号、議案第 4 号につきましては、原案の通りご承認いただきました。続きまして、議案第 5 号、役員を選任について事務局より説明をお願いいたします。

【6】議案第 5 号 役員を選任について（案）

事務局より総会資料を基に説明を行う。

《質疑応答》

会 長～ただ今のご説明に対しまして質問、ご意見等ございますでしょうか。（意見無し）

ありがとうございます。それでは、議案第5号、役員の選任については原案通り承認いただいたことといたします。以上で総会で諮ります案件につきましては終了といたしました。その他について、事務局に何かございますでしょうか。

事務局～事務局から1点お話をさせていただきます。個人会員として長年関わっていただきました〇〇さんですけれども、ご本人とご家族からの意向もありまして、昨年度をもって推進協議会の方を退会させていただきたいということで申し出がありましたので、ご報告いたします。

会 長～他に、その他として皆様から何かございますでしょうか。よろしいですかね。それでは進行を事務局の方にお返しします。

事務局～慎重審議、ありがとうございました。これをもちまして令和6年度八峰白神ジオパーク推進協議会の総会を閉会とさせていただきます。皆様、本当にお疲れ様でした。